

献 辞

西尾信一教授は、一九八四年四月、住友銀行を退職後直ちに三重大学人文学部教授として着任され、一九九二年三月停年退職まで八年間、金融関係諸法、商法の講義を担当された。

教授の学問的関心は、数多くの業績が示すように、実務経験を踏まえて、民法、商法の広い分野にわたって法理論を再構築することにあつたと思われる。教授の講義は、懇切で配慮のゆきとどいたものであつたときく。

教授は、一九八八年から二年間にわたり、三重大学附属図書館長として図書館の充実発展に尽力され、また学部では、人文学部社会科学科学科長、人事委員会委員長などを歴任された。そのほか、三重大学国際交流基金事業、学部学生の就職指導にあたつても熱心なご協力をいただいた。

教授の温厚で誠実なお人柄は多くの同僚、学生を魅了した。教授が身近におられることで事がスムーズに運び、また、まとめ役としての教授の発言に安堵したこともあつた。

教授は、四月からは神戸学院大教授に就任されて教育研究を続けておられ、また、五月には三重大学名誉教授になられた。

本号は、西尾信一教授退官記念号として企画編集された。寄稿いただいた方々、とりわけ学外の方々に厚くお礼申しあげる。

ここに、心からの感謝の念をこめて、本論文集を教授に捧げる。

一九九二年 秋

三重大学人文学部長

廣瀬 英一